

第3部 基地跡地利用・アンケート結果公表 議事録

司会(黒川) 第3部のテーマは基地跡地利用です。この問題は、朝霞市が財政事情を口実に基地跡地の開発に乗り出しました。しかし市民懇談会で市民合意でまとめた案を反古にして、まっさらにして、国とコンサルタント、市というよりコンサルタントが主体的にまとめて国家公務員宿舎の誘致をやってしまっています。国家公務員宿舎の誘致だけならまだしも、その上に周辺施設の整備まで入れるともものすごい市の負担がかかってくるという話を隠されているという話があります。これこそ朝霞市の未来を、バブル崩壊期に田舎の自治体がやった失敗をまた繰り返す、しかもそれが財政、財政と騒ぐ人間ほどそれに加担しているという。そういう状況が出てきているのかなということです。

そこで、朝霞の基地跡地利用、そこから見た公共事業のあり方ということで、基地跡地連絡会の事務局長をやっておられます大野さんに来ていただきました。また、市立第四小学校PTA会長の大畑さんは、第四小学校の建て替え問題から市の公共建築の話のまとめ方についていろいろ課題を抱えておられるので来ていただきました。この第四小学校の入札については入札にかけるのですが応札者なしで、2割増の値段がついてもう一度、入札にかける話になっています。その間子どもたちはプレハブ校舎でずっと何年も過ごすという事態に陥っている。この朝霞市というのは、公共建築とかそういうお金を使うときの価値判断はどこにおいているんだということに見えています。

私自身は、連絡会と同じ立場じゃありません。公園建設そのもの自体から否定していて、そもそも基地跡地は店ざらしにして、野ざらしにして放っておくのがいいという立場なのですが、市民委員会で基地跡地は利用していこうという方向が合意ができてしまって、どう使うのだと

いうことの中で、自然保護でいくのか開発でいくのか、ということで市役所と市民の間で断層ができていくというのが状況だと思います。

そういうことでは連絡会の言っていることは調査能力も高くて、今日はそれをみなさんにご紹介して、朝霞市がどういう状況に陥っているのか、どういう条件に陥りそうなところかという話をさせていただいて、大畑さんに続いてお話をお願いいたします。

それでは大野さんお願いします。

大野良夫さん(朝霞市基地跡地利用市民連絡会事務局長) これは先月28日に市民への説明会・学習会を開いたときの資料の一部を抽出した資料です。

(ここからはパワーポイント映像による解説) まず、2006年12月に市の基地跡地利用市民懇談会というところで議論を重ねた結果として最終報告書というのが出されました。これは公募市民100人を集めまして議論した結果です。その内容は、跡地の中央部を緑地公園にしましょう。周辺飛び地が3ヘクタールあります、これが市民のための事業用地と答申しました。このときには市民に開かれた透明なプロセスで作る、ということ徹底し、答申では少なくとも国家公務員宿舎の建設の判断は行っていません。この手法については市民参加のモデルケースと言われてテレビ朝日も取材に来ました。

ところが、その結果があるにもかかわらず、2007年6月に突如として跡地の整備計画が市から発表されました。これについては全く市民懇談会の最終報告を反古にした内容になりました。国家公務員宿舎を650戸、それも基地跡地の真ん中に作る。その内容は26階建てツインタワー、まさに景観を破壊するものです。

そして、シビックコアとして複合施設も一緒

に提案しました。他にも 50 メートル道路、中公園前にシンボルロードを造りましょと、いまの道を 30 メートル拡張して緑を 2 ヘクタール削ります。というような話が出ていました。

今の市の基地跡地の整備イメージですが、ここに国家公務員宿舎をもってきます。複合施設をとなり。それとシンボルロード。それと全体的には防災公園として都市型公園として整備する。というような内容になっています。

シビックコア構想というのはどういうものかといいますと、朝霞の場合は全体を含めて 39 ヘクタール。各地にシビックコアというものをやっています。交付金とか出て、合同庁舎民間の施設を作ろうという計画です。

それではなぜ朝霞に国家公務員宿舎が来たかという、小泉首相の 2006 骨太の方針で、国有地の財政危機なので売っていきましょとということと、さらに 23 区内の宿舎 1 万戸あるうち 7000 戸を整備するというのも決定されました。その結果 23 区内にあるうちの 3000 戸を潰すことになったのです。しかし都内ではないからと移転くる話になり、3000 戸を朝霞に持ってくるという提案がありました。これには市を挙げての反対で撤回されました。そして昨年 9 月に 1000 戸にして再提案。そして今年の 6 月に 850 戸にまで減らして市が受け入れるということになりました。

市民懇談会の答申では、基地跡地の利用は市民の願いは緑の公園を願っていました。私たちは運動的には基地跡地をすべての緑としてほしい。基地跡地の中には国家公務員宿舎を建てない。市の財政が減らすためにも公園用地、とお願ひしています。

なぜ私たちが公園用地という選択をしたのかという、いろいろな選択肢のうち公園で取得することが一番安くなります。3分の1の有償負担で済みます。191 億円で済みます。そして 2 番目の問題は、ぜひ子々孫々まで守りたいということですが、本当に財政のみ、市の財政のために作るとかいうなら、四小の建て替え跡地

とか、自衛隊官舎跡地もあるでしょう。他のまちで従来返還された基地跡地というのは県営公園になっています。和光樹林公園、所沢航空公園、入間の稲荷山公園、すべて県営公園となっています。

問題点と課題ですが、市側ですが、市長についてはやはり最終答申書を完全に逸脱した内容で今回の話が進められている。情報開示と市民参加がなく、市とコンサルタント、市の一部とコンサルタントで決められた。整備策定委員会がありますけど、ここは公務員ばかりで市民参加はありません。市は苦渋の選択、決断といますが、その財政負担の根拠すら何度も説明しなさいと要求しても一切提示が来ません。国の財政支援で国家公務員宿舎を積極的に建てようとしている。それは複合施設を作るためのいろいろな交付金ですね、まちづくり交付金をあてにしている。

財務省の問題点ですが、いろいろ地元の意向を大切にすると、国会でも朝霞市にも整備策定委員会でも答弁しています。つまりこれは最終報告書を地元の意向と思っています、それを尊重すると私たちは受け止めています。しかしそれとは関係無しに国家公務員宿舎を建てる話になっています。それと先ほど言いましたが、23 区内の 3000 戸ですが、これを私たちが財務省に情報開示を求めています、すでに 2350 戸、計画が策定されています。残りは 470 戸、850 戸作るというのは非常に超過していると言えます。この財務省の問題はとんでもない税金の無駄遣いではないかと言えます。この事業は、いわゆる P F I という方法でやります。宿舎というのはヨーロッパやアメリカにはありません。いつ全面的に廃止になるかもしれないものを、簡単に拙速に作っていいのかというのがありません。あとは有害物質の除去を朝霞市に押しつけようとしている。これは非常に問題だと思っています。

私たちがめざす運動の中身ですが、1つは 3 万人の署名を進めている。すでに 2 万 8000 筆

の署名は力になりまして、前回9月議会の有害物質の除去を国負担でやれというのが請願として通っています。新聞・週刊誌が非常に注目しています。現在27000筆の署名が集まりました。今日は農業祭で、署名を集めまして、500人集めまして、8小前で300、きょうもこの会場前で200を持ってきていただきまして、2万8000筆を超えた数になっています。

各級議員への対応をやっています。特に市会議員については12月2日に投票がありますので、私たちの運動に理解のある候補者を増やしたいと思います。県議会議員の神谷さんは国家公務員宿舎に反対してくれましたが、残念なことに県への請願のお願いに行ったら断られました。12月の県議会に請願を出そうと準備をしています。国会議員も18人ぐらいに資料を送っています。

埼玉県への働きかけも強化していきたいと思っています。県営公園化というのも県の財源になりますので上田知事をお願いします。それと、あそこに地上80メートルの賃貸住宅を建てるには用途変更をしないと建ちませんので、県からストップかけるようお願いしています。また県は高さ規制のガイドラインを持っていますので、これで対応できないかということにも取り組んでいます。また緑のトラスト登録に向けては多くの市民が参加していただきまして、今月5日に締切になりましたが、今月に県の方から打診、調査が入るそうです。

公園の形態にはいろいろありますが、東京の日比谷公園、土地は国有地で、上が都立公園、いろいろな知恵を絞って市民が利用する方法があるだろうと思います。

データ類について紹介します。基地跡地についてはクールアイランド効果があります。市民団体が一昨年現地で調査した結果です。中央公民館前の臨時的駐車場のところは31度、市役所の近くのセブンイレブンあたりで32度、その先の中華一寛では33度となっていて、基地跡地と市街地で約2度違う。測る日にちとか気

候によって違います。もう1つのデータでは最大4度違うというデータが出ています。そういう意味では基地跡地の森の効果や緑の効果が大きいと言われていています。

朝霞市の都市整備公園の整備状況ですが、こういう状況で朝霞市は2㎡しかありません。

財政の方ですが、用地費は128億円ということになります。国家公務員宿舎の周囲のシビックコアと、シンボルロード、ですね。用地、事業用地で買うと時価になりまして、3分の1になりませんから、非常に高くなります。たとえば、1.3ヘクタールだけでも32億。あわせると144億円になりまして、事業用地で買うと大変損になりますよ、ということになります。

国家公務員宿舎の建設費は私たちが試算した内容です。だいたい115億円、これは㎡あたり24万として計算するとこうなります。駐車場を地下方式で作ったりすると、このようなかたちで周辺整備費として31億円ぐらいかかります。私たちの血税です。

市役所は税収が増えるからいいじゃない、朝霞市の広報あさかでは2億5000万円増えると言っています。しかし朝霞市の試算は独身者の世帯が3分の1、203世帯を50世帯と小さくしています。単身赴任者というのをほとんど2年間で転勤してしまうので住民票を朝霞に移さないことが言われています。ところが朝霞市の試算では100%市民税を払うとして計算しています。3分の2の人の年収は全員900万で空き室ゼロとしています。私たちは独身者、単身者、家族用をそれぞれ3分の1にし、空き室5%、単身者の朝霞市の納税率を50%と計算しました。その結果、5000万も減ります。単身者が朝霞市に住民票を移さなければ1億円の税収が入ってきません。

税収が増えても支出が増えます。朝霞市の昨年の決算を見ると、市民1人あたりの支出が26万円余です。公務員が来て税収が増えたとしても、それを差し引きすると持ち出しが14万3000円、1人あたりかかりますということにな

る。当然、幼稚園、中学校の整備の負担がかかります。現実には、朝霞はマンションで人口が増えています。ますます財政が厳しくなっているとされています。人口増が税収を増やして市財政を潤すというのは疑問です。

あと、テレビ受信障害が広く発生します。2011年にデジタル放送が始まります。2010年に完成、今のアナログ放送で対策をしなければなりません。2011年にデジタル放送が始まると再度デジタル放送の影響が出ます。税金の二重使用になります。テレビのアナログ波だと反射波が影響します。栄町、本町に障害が出ます。アナログ放送だとゴースト障害、スノー障害、バースト障害こういうのが出ます。デジタル放送は、後ろの方が全然遮蔽されて見られません。反射波の方はあまり影響がなくなります。そうすると幸町、膝折町、泉水、三原、新座市まで伸びるとされています。

日陰障害ですが大きい被害が出ます。朝の8時、膝折5丁目北浦公園の近くまで日陰が伸びます。9時ぐらいになると栗原整形外科、新谷医院さんの市役所には3時になると日陰、4時になるとずーっと伸びます。公務員宿舎がある限り、日陰障害が続きます。

以上で説明は終了して、もう1つの説明をしたいと思います。

今度は、市でつくる複合施設とシンボルロードの話をしていきます。市で考えている複合施設はこのような、これささいたま市のノースプラザ、2.6ヘクタールのイメージです。12の公共施設を基地跡地を統合したいと。市の施設が6施設、県の施設が3、税務署、郵便局は今回は外しています。民間施設ということでわれわれが抗議しましたから。じゃあ朝霞市の建て替えの理由とはというとそれが2つ。1つは建物の老朽化ということを行っています。しかしコンクリート造りの建物の耐用年数は法的に50年です。耐震対策で建て替えると言っています。建築基準法が変わりましたので耐震基準が強化された。たとえば小学校だと耐震補強なら1000万で済

みますが、建て替えとなるとこのようなお金がかかると言われていきます。

建物を見ていきます。統合対象の候補になっているもので、一番新しいのは市民会館ゆめばれすです。これは10年前の建設。日本国内で古いコンクリート建築の建物はどのようなものがあるのかというと、日比谷公会堂の竣工が1929年、昭和4年にできていますけど今でも十分使えます。コンクリートの建物はメンテナンスさえしていれば耐用年数以上に1.5倍は十分にもちます。

市役所の別館は15年前。少年期です。国会議事堂は71年経って今でも使っています。古い方の庁舎は経過年数が35年経っていて、耐震性は低いというのは事実だと思います。あと、この時期に朝霞税務署ができています。ここを全部建て替えて、跡地を商業施設にしたいという計画をこの間10月の整備策定委員会で公表しています。国の税務署の新しい建物を。まさに国税の無駄遣いを最たるものだと思っています。

ベスト4は図書館。20年です。これは成人式を迎えたところ。確かに蔵書が増えて保管に困っていることは事実です。ただ他の方法もあります。中央公民館、緑が多くてすばらしい環境があつて、中にもっていく必要もありません。朝霞郵便局は民営化になったのでこんなもの税金で建て替えるのではない、と抗議した結果今回は落としてありました。

その1年前が朝霞保健所です。さらに2年前が保健センター、これで23年です。耐用年数の折り返しが武道館。これが28年。そのぐらいの建物です。ハローワークと県税事務所がそんなに建っていない。35年建っていない。確かに狭いですが。朝霞で一番古いのが警察署で42年経っています。これも耐用年数には達していません。

5月の整備策定委員会では9施設を統合したいと言いました、9月27日の第6回整備策定委員会ではさらに3施設増えて12施設になりま

して、延べ床面積が倍になっています。では建物と用地でどれだけのお金がかかるかという、 m^2 あたり 24 万円で計算すると建物だけで 109 億円ですね。これを建てる土地は、事業用地となり時価で取得するので 40 億円かかります。これ全部血税で作られるのです。またその、たとえば市役所とかコミュニティーセンターの撤去費用、除却費用は一切計算されていない。建設分だけです。ですから建設費用で 200 億円かかると言われます。

この事業は P F I 方式で行われ、国のまちづくり交付金をあてにしますが、朝霞市の資金計画はどうしているのかという、P F I 方式でやるというだけ。簡単に言うとリースと同じです。民間のお金で作って、民間が運営管理をします、市役所はその賃借料を払います。しかしこれは究極の官製談合システムで、一般の入札では一番低い価格を出した人が仕事を取れるようになっています。賃借料や管理費としてどうにでもできる。実際に P F I 方式で運営された高知医療センターは、病院長と P F I 選定業者の間の汚職で逮捕者を出しています。

それからまちづくり交付金。市民には負担をかけませんと言いますが、5 年で打ち切りになりますから、朝霞市は急いで急いで計画を出そうとしています。これも税金ですよ。成功例は愛知県岡崎市だけと言われています。岡崎市は人口 35 万、朝霞市の 3 倍です。朝霞は東京で買い物をして、地元でなかなかそういう施設を作ったとして、中に民間の商業施設を作ってもなかなか難しい。グリーンピアの二の舞になるようです。管理費だけでも年間 1 億、2 億かかるわけですから、それだけの収入があるのかと思います。

本来は、商店街や地域住民との共存共栄というのが当然の姿だと思います。

約束違反ということですが、最終報告書をおさらいしますと、事業用地というのは、周辺 3 ヘクタール、市民のためですよ、と出しています。ところが今回の整備計画案ではですね、事

業用地は、シンボルロード、シビックコア、公務員宿舎すべてあわせると 6.3 ヘクタール、約 2 倍に増えてしまいました。全くこれは約束違反だと言っています。

シンボルロードの件です。まさしく税金の無駄遣いです。シンボルロードの使い道というのは、年数回のイベントだけです、と言われていています。ですからここはシンボルロードを造ろうとしています。現行でも 20 メートル幅、十分な歩道がありまして、自転車専用道路もあります。今日も農業祭で使っているこの広場、十分イベントができると思います。この長さ 650 メートル幅 30 メートル、約 2 万 m^2 の誰もシンボルロードが必要だという声は挙がっていません。市長がやりたいだけ。30 メートル幅というのは広い。どれだけ緑を切るのか、朝霞保健所の裏門までが 30 メートルです。歩いてみるとこんなところまで切るの、と思います。50 メートルというのは、小学校のときの 50 メートル走を思い出していただけると、この 50 メートル幅が広いかと想像できます。これができると動線計画なども変わってきます。市はこちらをメイン通りにして、今の市役所どおり富士見商店街は見捨てられると思います。あと私たちシンボルロードなら駅前通りをシンボルロードにしてよと思っています。

シンボルロードと公園の費用比較ですが、樹林公園にすれば用地取得費が 3 分の 1 になります。いろいろな鉛処理費とか、公園建設費、維持管理費入れても 16 億円かなと思います。

確かにシンボルロードだと用地費が安いです。取得費がゼロになります。しかし、鉛処理費は全部にかかることと、建設費はいろいろ算定根拠がありますが、朝霞駅前整備から計算するとこれくらいになります。維持管理費は道路として使うと 29 億になります。このへんはどういう仕様によるかによってかなり状況が変わります。

このような私たちは、緑を潰してまでシンボルロードはいらないというふうに思っています。

私たちはぜひすてきなこの緑を次世代に残したいと思っています（パワーポイントによる解説終了）。

司会 大野さんありがとうございます。それでは大畑さんからお願いします。

大畑さんは朝霞台四小学校のPTAで、第四小学校の耐震工事に関わっています。朝霞第四小学校、耐震強度がないということで建て替える。決まって、プレハブ校舎で授業をやっています。それで建て替えを決めて、入札を募ったところ応札者がいないということで、一気にたんたん見積額を上げています。この間の経緯が不透明だと保護者にずっと不安を与えているし、そのようなことをPTA会長として大変な思いをしているということをお話お願いいたします。

大畑茂さん(朝霞第四小学校PTA会長) 朝霞台四小学校のPTA会長をさせていただいています。朝霞台四小学校の問題をいいますと、建て替えの問題がありましたが、これは実は市の議事録を見る限り、平成元年、そこから始まります。当時は自衛隊の演習騒音があつて政治的課題として移転しようという話がありました。早くから移転しようという話がある反面、移転の延期、朝霞第1中学校の新築移転、そういう問題とともに、常に後へ後へとおされてきました。いよいよ耐震性の問題、かつて阪神淡路大震災をきっかけにして、大きく浮上してきました。そのような流れの中で改めて保護者が動き、とりあえず現在、仮設校舎プレハブで学習できるようになっています。あわせて朝霞第1中学校が現在の場所に移転し、その場所に朝霞台四小学校を建築しようという動きになっています。けども、その問題は今ご紹介がありましたけども、応札者かなしということで1年延期になっています。プレハブ校舎で入学し、プレハブ校舎で卒業するという生徒が確定していると同時に、新築移転完了後、その土地がなくなる。それによ

って自分の母校がなくなるという生徒もまた出てきます。

おかげさまで朝霞台四小学校は創立50周年になります。厳かな中でもにぎやかに記念式典が行われましたが、その中で3人の子どもたちの発表がありました。移転していく先に緑がない、虫かごをもって虫取り編みをもって通学できるのは、朝霞市内では四小だけだったのです。そういうことを子どもたちははっきり認識しているのです。そのような敷地をそのまま使ってほしい、会長にさせてもらって以来、市の方に要請してきましたが現在に至るまで却下されています。その却下という点については後ほど改めて紹介させていただきたいのです。

朝霞台四小学校の問題はいくつかあります。自校式給食室が課題です。さきほど大野さんのお話の中でも逼迫した予算、それを補うための国家公務員宿舎という話がありましたが、これがネットでもひろうことができるのですが、朝霞市中期財政計画、平成21年までのもので、このようなものがあるのですが、中期財政計画。依然として5年間の間に、財源の不足が48億円、これははっきりと市の見解として出ているのですが、このような建て替えを行い、自校式を行うことで、今まで十分に供給できる給食供給体制を分解し、そして建設をし、さらにメンテナンス費用を確保していく。どこからその財源を絞り出していくのか、ということについては全く無計画ですが、市長のマニフェストだからやるんだ、ということで質問しても一歩も譲るところがありません。

さて、その自校式給食を作る施設ですが、平成16年12月定例会で、公明党市議会議員がその場所の旭通町内会の集会場を作ってほしいと要請しています。教育長が議会答弁で「用地が狭いので、そのような施設は入れることができない」と答弁しています。そしてその次の平成17年に富岡市長が当選し、そしてその場所に自校式の用地が入っていく。四小の敷地内に建つ施設によってグラウンドがさらに狭くなってし

まう。そのような状況があるのです。子どもたちのことを考えているのかな、ということもあるし、メンテナンス費用はどこから出すのかな、ということはそういうものは四小の問題としてあります。

第2の問題として、第四小学校の跡地はどのように使われるのか、という問題があります。今年、6月の定例会で原山議員が運動公園にしたらどうかということを再三提案していますが、市の方は議員の提案としては聞いておくとしています。2つの進路が決まっているということです。提案として聞いておくというのは、別な方法も考えているということなんです。かつては、やはり、利根川議員によって四小跡地は国に売却し、売却益で一中の跡地を等価交換的に確保したらいいのではなか、と発言もあります。四小跡地は自衛隊に隣接する土地として国有地として売却される予定もあるということです。すべてそういう質問に対しては未決定ということで、保留していますが、PTAとしてそこまで考えなくてはならないと思っていますが、実はPTAという組織は、ご存じのとおり、会則として学校の人事に意見できない、政治的な運動、これもまたできない、そういうものを会則として内包してしまっています。ですからいわゆる僕自身が動くときも、保護者代表として動かなくてはならない。会長として、保護者代表として動き、教職員には声をかけられず活動していくというのは手かせ足かせがはめられているということで、これはかなり苦しい動き方ですが、池本さん始め、地元の方は順々に耳を傾けてくださる方がいて、この場にお招きいただきました。

さて、第三点の問題です。一中跡地移転後の問題なのです。現在、バイパスの解体が膝折2丁目のエリア、オートボックスの裏側の子どもたちはそのまま坂を挙げれば四小なのですが、一中跡地に移転した場合、最短距離が最も道が狭い危険な道なのです。ご存じの通り、膝折から上がっていく場合は、坂がありますが、周辺

が拡幅されたため、クルマが雨の日に下ってきたとします。スリップしたとします。子どもたちが傘をさして前が見えない中、スリップしたクルマが次々はねとばされて反対側のにんじん畑に次々落つことされる、そのような状況も十分想定できるのですが、また、周辺の出入り口4ヵ所用意されていますがいずれも見通しが悪いところにありますので、教育委員会総務課に位置の変更をお願いしてきましたが、未だに図面はそのままで変更はありません。

話が長くなりましたが、第1自校式給食センターに財政的に問題がある、四小跡地利用、未決定といいながら腹案がありそうだ、一中移転先の移転した後でも子どもたちに安全性が確保されない。安全性を確保すると安全でない道の2倍の通学路を歩かなくてはならないという問題があります。

さて、もう1つだけ。以上のようなことを並べながら、取り壊しについてですが、一中の取り壊しの予算が1億4000万円で九事業体同額なのですね。2業者が同額で落札しています。こういうのを談合というのではないですかと教育委員会の総務課長に聞いたら、きわめて嫌な顔をされましたけど、入札について見ていく必要があると思います。四小の保護者が苦しんでいるのは誰も責任を取らないというシステムがあることなのです。あちらこちらで意見を言う、お願いに行くときに市長という窓口があります。教育委員会として教育長という大きな窓口があります。設計を担当する総務課、通学路を担当する指導課、通学路の安全を確保する道路安全課、施設管理課などたくさんの窓口があり、そこをぐるぐるたらい回しにされているうちに、四小の問題というのは、移転ですよ、ということから決定ですよということにいつの間にか変わるんですよ。そこは大野さんも同じように苦しんでおられるんですよ。

恥ずかしながら市議に立候補しようと思いましたが、申しわけありません。いろいろ身の事情がありまして、今回立候補しないことにし

たのです。もし出るなら、こうしたことの最終責任システム、それを行政や議会、市長に市庁舎の中に確立したいと思います。

ぼくらは四小のことなどで請願をし、わかりました検討しましょうと議員の方はおっしゃいます。ではどのように話され、どのように決められたのか、私はこういうことやりましたと言われます。やった後でありがとうございます、ではその責任はあなたが取ってくださるのですね、というところがすべて曖昧になります。そういう点でおおまかな言い方ですが、最終責任のありかをいつも確認しながら進めていかなくはならないのかなというのが思いであり、今まで考えであります。

司会 ありがとうございます。今、基地跡地と第四小学校のことを聞いていただきました。ずっと昔朝霞市の公共建築というのは抑制気味でやってきたのですね。ここ5年ぐらい、わーっと一気にやっています。さきほど高堀さんが保育園1個作るのに5億とか1億6000万とかあって、それがムダだと。ニーズがあるのに税金の無駄遣いと叩かれてきたけど、100億、30億の話だとポンと進んでしまうという、そのチェック能力のなさ、この問題はすごくよく見えてきているのかなと思うのです。

今の話には2つ話があったと思います。最終責任がわからない。たらいまわし、たらいまわしにして、まだかな、大丈夫かなと思うと、ある日突然決まったことが下りてくるということ。

もう1つは今まで朝霞市というのは公共支出に相当抑制してきた。おかげで障害児のおられるご家族なども我慢させられてきたし、保育園の待機児童とされた人なんかもずっと我慢させられてきたけれども、これは健全財政をやるためなのかなと思いながら、自分が懐痛めて、持ち出して福祉サービスを調達してきたわけですよ。市民はそういうことを耐えてきた。これは将来のために仕方ないのかな、と言ってきた。

ところが塩味さんの末期に問題あるのか、富岡さんになってからの問題なのかよくわかりませんが、最近は大判振舞いで大きな事業をやるようになった、建物を次から次に造るようになった、それから有力者の土地を次々を買って、ネコの額みみたいな公園を次々に作っているということが目立っています。市のHPを見ると、何とかの土地を買います、何とかの買った土地を公園にするので応札業者を募集しています、というのが次々に出ている。挙げ句の果てに、価格が折り合わないで平気で1年2年延ばして、業者が価格をつり上げるのに唯々諾々と発注している。公共事業の進め方がおかしいと感じています。

おそらくここにいる人たちは基地跡地にかかわってはいろいろな考え方の方がおられるのだと思いますが、以前、大野さんに相談を受けたことがあって、財政問題に対抗方針立てないと闘いきれないよ、私は野ざらし派だから収入支出現状維持で何のシミュレーションもいらないけれど、建てろという人たちは国のカネで住民を誘致して税収が増えるという論理ですし、一方で公園を作れという人たちはただ税金を使われるという感覚しかないのですね。そうしたら大野さんたちは今日のプレゼンテーションにあったような概算ですが、シミュレーションを出してきました。合計400億円という数字を出されたわけですが、その計算を出したときにどんな感想を持ちましたか。

大野さん そうですね、結局、国も市も財政危機だと言っているんですね。財政危機だから国民には我慢なさい、福祉も教育もカネを削りましょうと。計算してみたらこれが一番無駄遣いじゃないかと。使える建物も10年20年というものを全部建て替えるというとんでもない話なんですね。さっき大畑さんも話しておられたけども、撤去費用なんてまさに談合の巢になりそうな話、手頃な金額でいろいろな業者が入りそうな話、手頃な金額の仕事を作ってやってい

る、そういう話かなぁと見えてきました。

司会 結論を急いですみませんが、大畑さん、この今その公共事業のおかしな運用の最終責任がないという話がありましたけど、市長はやるというって当選してしまったからやるしかないと思いますけども、本来対抗すべき議会がというのがどんなふうに見えていますか？

大畑さん いや、全く無視されているんじゃないかと思います。資料等おそらく、こういうものを作りますよという基本設計図があるかと思うのですが、市議にまわっていないですね。土壇場になって第四小学校の基本設計図が回ってくる状況です。そして一般の議員さんたちは詳細の分析をしない。基づいてどんな交渉ができるか考えない。そのような状況です。

司会 今議会が無視されているという話があって、チェック能力が果たされていないということですね。

大畑さん そうですね。

司会 基地跡地もそういう状況ですか。6月の突然の発表の後、議会のあたふたぶりってありましたよね。

大野さん 全くその通りだと思います。議会是我们が請願行っても、基本計画読んでいない議員がいっぱいいるんですよ。ですから我々が行っても基本計画の違いがわからないという人がいる。我々が説明してわかるという状況。何回も説明に行って。やっと理解するというレベルです。

司会 今、いろいろ題材を見せて、ここで100話よりあれですけどじゃ会場から基地跡地の是非論はしないでいただいて、公共事業の運用と議会の役割とを議論をお願いしたい。それと、

今回の選挙でこの問題できちんと議員に説明受けていますか？私たちが市役所、市政の未来を決めなくてはいけないのですね。そういう時が迫っている。よその街だと3ヵ月ぐらい前から選挙運動のまねごとを直前までするわけですよ。そこで説明を受けるわけですよ。国家公務員宿舎推進派だったらこんなメリットがあると、反対する奴がおかしいというべきだし、公園建設派はこういうべきだし、医師会応援している人なら医師会館を建てるべきというはずだし。そういう説明は受けていますか。

大畑さん 直接議員が来たことはありません。ただ気になる話があります。今回の市議選に県議の息子さんが立候補の準備をされていますが、その方が基地跡地の国家公務員宿舎建設反対をアピールしている。しかし、そうやって反対と動いてしまうとご自身の立場が悪くなってしまふ。保守系の多くの議員は、どうせ建つことが決まっているんだから、どうやってあとを良くしていったらいいと考えている。おっしゃっている。

司会 国家公務員宿舎だけだったらそれでいくのですが、見返り施設としてやるものが市の負担が入ってくるバカにならない金額になる。このことについて説明も受けていないし、保守系では県議の息子さんが1人で公約しているという状況ですね。

大野さん そうだと思います。複合施設というのはどこにも今回のパンフレットありますが、基地跡地の有効利用というかたちでは載せていますが、国家公務員宿舎は反対、複合施設は反対とか、シンボルロードは反対という声を出している人は少ししかいません。ですから市長与党の進政会、拓政会とかは、みんな跡地の有効利用というかたちになっています。そこで市民の声を聞かない有効利用を図っていきましょうということになっています。ですからそこは

市長の建設計画、複合施設の建設計画も市長の公約、シンボルロードも市長のやっていくことは追認していくという姿勢、のみだと思いますね。

大畑さん それは全く同感です。

参加者Oさん 司会が、大野さんの見ていただいた内容について理解されていない。わかっているじゃないんですよ。国家公務員宿舎が2本建つと2年目から赤字が下りるんですよ。何かというと朝霞市民1人あたり26万円4000円使っているんですよ。

司会 わかっていないとかわかっているということではなくて、そもそも市が情報公開しないから国家公務員宿舎の建設の財政的影響の中身がかわらないことが問題だと言っているのですよ。建物が建つこと、国家公務員宿舎が建つことも問題だけでも、市の財政運営で言えば、周辺施設にいろいろな人が群がっていることが見えてくるわけですよ。そのことを議論しないと、損得だけで言ったら国家公務員宿舎本体だけだと思っているのですよ。市民は市の財政痛まないと誤解させられているんだから、いいじゃないかとなってしまうのですよ。

参加者Oさん だから痛むと言っているんですよ。26万4000円かかるというわけですよ。

司会 しかしそれは明確な根拠のある数字ではないし、新住民みんな出ていけという話になるわけですよ。そういうこと言い出すから運動が広がらないんですよ。

参加者Sさん ここは基地跡地の是非論を議論しようというのではないのです。

参加者Oさん 市の言うことを鵜呑みにしているけども、朝霞市の財政を見てもらっていると

ころです。そこに相談なさるといいです。市の言うような朝霞は財政が逼迫していないんです。だから市長が無駄金使って自分の部屋のシャワー室なんかつけている、ジャンジャン無駄遣いしているんです。市の言うことを鵜呑みにしないで裏を取るということが絶対に大事です。それからこの間、市長室のトイレを作ったんですけど、298万円払っていましたが。しかし190万でできる仕事なんです。ですからそのように高堀さんの保育園作るのに1億円必要だと言っていたけど、そこには必ず業者が2つ3つ入っていて、バックを取るわけですよ。そういうことが必ず起きるわけですから、私たちが証拠をなかなかつかめませんが、そのへんのこと頭に入れて鵜呑みにしなければいいと思います。

司会 何か私が鵜呑みにしていることを決めつけているような言い方ですね。反対運動をされている方のやっていることが合っているとかが間違っているとかがそういう話をしているわけではなくて市民の理解と合意のためにどうなっているんですか、という議論をしています。

この問題がこれだけ市民の関心のある問題になっているのに、自分たちの意思表示ができていないのか、基地跡地の運動の側の問題としては候補者立てていないではないか、それで市議会半分がほぼ賛成なのにそれを崩すことをやっているんですか、という問題があるんですよ。もう1つは、候補者がそもそも第一部の問題に戻りますが、情報公開もしていなければ、自分の政策もやっていない、市議会の賛否も基地跡地利用市民連絡会が賛成反対したかというのを公開して初めてわかったんですよ。さらに連絡会では意識調査なんかも議員にしていますが全然回答を拒否しているわけですよ。その不誠実な対応たるや。

大野さん そうですね

司会 その150億円、周辺整備で180億円その

他、400億円近い話を全く市民に選択の権利を奪ってやっているわけですね。

大野さん 一番の重要なことは、その辺の情報公開を市がきちんとやって、朝霞百年の計を作るんですよ。一回作ってしまうと30~40年振り回されるんですよ。万が一政権が変わってごらんない、欧米では国家公務員宿舎なんかはない。それが廃止になれば無用の長物になってしまう。そういう論議はないんですよ。複合施設だつてまとめたときに市民の利便性とか、使い勝手とか市民にアンケートを採って、シビックコアに吸い上げられる施設がなくなった地域は、地域の活性化とか影響とかどういうものになるのか、市民と一緒にやってつくっていく、さきほど私が言ったように市長とコンサルタントと国とで密室で作っている。これこそ市民が参加して作っていく、時間をかけて作っていく。まちづくり交付金なんかあてにしないで、5年とか焦ってやるのではなくて、百年の使い道を考えてほしい。100年かけるまちづくりなら、12万5000人市民なら年5000円の負担なんですね。そんなもののできる。公園が買ってしまうのですよ。みんなが参加してできるんです。まちづくり交付金をあてにしなくても市民がほんとうに必要なというなら公園を手に入れることができるんですよ。そういうことをもっともつとゆっくり市民が参加して作っていくということが大切だと思っています。そういうことを議会で議論していただきたいと思っています。

司会 大畑さん、立候補されようとしたという話は聞いていたのですが、普通のまちだと、どことも言いませんが、野党第一党というのが税金の使い道についてチェックをしてくれるものですね。国では税金の無駄遣い一掃本部などというものを置いている政党もあるわけです。公共事業のべたべたの党首が煽っている状況でもあります。朝霞市、国政与党、国政野党に連なっているどちらの議員も国家公務員宿舎の建

設についていけいけどんどんで行っていますよね。立候補の経緯を含めて話していただけたらと思います。

大畑さん ゲゼルシャフトとゲマインシャフトという社会学の大きな分類がありますけども、そのどちらも基盤にならないことになって。地域共同体では、大畑お前は地元の役員やっていないじゃないか、という声になりました。利益共同体というところでは、政党からすればあいついつも俺等を批判しようとするから立候補させて蓋をしておこう、そういう動きというのが見えてきました。蓋をしておきましょうと利用されることが、批判するという立場からすると危険なんだと思います。それと、すでにキーワードとして、今回の回答をくださらなかった会派の方には、国家公務員宿舎のことを訴えても票にはならないという共通の認識があります。

司会 賛成という票にならない、反対という票にならない、ということですか。

大畑さん 宿舎建設反対と言っても票にはならないという認識がある。もしあなたが当選した場合、反対と唱えて当選した場合、やることは決まっちゃっているんだからその中で浮いたものになりますよという言葉になるのですよ。

司会 そしてね、私はその言葉が朝霞市の状況を捉えているなと思ひまして。札幌に9年住んでいましたけど、そこは地方議会も二大政党制がある程度機能していて、日本一社会党が強かった地域ですから、社会党の道会議員や市会議員が自民党と同じぐらいいるのですね。そうすると拮抗するわけです。いろいろな論争をやるわけです。反対するときには負けても徹底的にやる、なぜやるかという次の選挙のときに明確にするとその支持者がきちっと得られるからだという二大政党制の基本的な原理だと思うの

ですけども、朝霞で選挙やるときには、決まっちゃったんだから仕方がないと引っ込んじゃうんですよね。

負けるとわかっていても、闘うだけたかってみてはじめて次に出てくるお化けにブレーキをかけられるわけですよね。大野さんに相談されたときにも言いました。国家公務員宿舎建設に反対だと思うなら徹底的にやるべきだと。決まったのだから仕方がないという声に流されたら、仮にその公務員宿舎が建ってしまっても、その後いろいろなものが出てきたときに、どうせ市民は黙っているから何やったっていい、ということになる。とにかく行動しなければダメですという話をしたことがある。役所が絡むことでは、すぐに、決まっちゃったんだから仕方がない、という言葉が出てくる。すぐ出てくるこれを何とか克服しないと、市役所や市議、市長が緊張感を持ちません。この街は良くならないですよね。

大畑さん 付け加えていると、決まっちゃったんだからという人に、必ず誰から聞いたんですか、と聞き返すと絶対に名前が出てきません。噂と同類なんです。

参加者Oさん 一番悪いのはみなさんが広報を信じて増収になるということ、市の言うことを鵜呑みにしていることなんです。私たちはそれを信じないから絶対にがんばっている。7回目の委員会に九段下でこそこそやっている委員会に傍聴に行ってるわよね。市はまちづくり交付金いくら出るかということを知りたい、それで大型開発をしたいからと。国から言わせると、朝霞市の詳細が出てこないからいくら出せるとは言えません、と。中村副市長は大型開発しても県が入ってくれるかどうかわからないし、つてそこで言うのよ。そんな計画なの。ある市議が傍聴に来ていらしたんですけど、「いい加減な計画だなあ」と大声を挙げたんですよ。現実はそのところだ。決まったからだということで

信じて、何もできないと思うことはいけないことですよね。

司会 今までと流れが変わってきたのは、この問題で3万近い署名が集まったこと。これは朝霞市始まって以来のことだということですね。このまま黙っちゃいけないという声が出てきている。それをかたちにしていうことが市役所が届かない。市役所がやりたい放題やっている。適当に説明しておきたいということを議会としてどうするんだということになると思います。

参加者Oさん 全然市に届いていないわけではないですよ。成果ですから。

参加者Sさん 多くの市民は基地跡地に関心があるかという、一部の人には盛り上がっているけど、多くの人にはどうかなという感じはあるわけですよね。それと、たとえば、あまり良く知らない人が市長がやろうとしていることを、市長には市長のお考えがあるのではないかと漠然と思うのではないですか。何をやるにしても賛成と反対がいるのではないですか、賛成は賛成で意見があるし、反対は反対で意見があるでしょ、何かわからないけど、という感覚が多くの人が持っているわけです。議員も多くが反対していないからいいんじゃないの、と。なんかそういう市長がこういうを出している、一部反対あるけれども、だけでも進める側が進める理由があると思うのです。支えている力があるという事実だと思うのです。そういうものをこういうことなんだ、と知らせてくれるものがないと、それなりにそれぞれを考えているんだと終わってしまう。そこを何かないとぼくらとしてはわからない。賛成もあれば反対もあると、それでもいいことがあれば悪いところがあると、決められないから流されていくというのを破っていく必要がある。

参加者Oさん 26万4000円の赤字があつて・・・

司会 不規則な発言は待ってもらえますか。

参加者Nさん 百かゼロかというものではないのに、ゼロか百かで決めると言われている。反対と言いたいし、賛成と言いたい部分がある、どちらか、反対なら反対といえ、賛成なら賛成といえということだと、言えないんですよ。言いたい部分は言いたいし、それを署名をしてくれと団体に持ち込まれて、中立の人に全部話が生きた渡るように話をやってくれと言われたんですけど、話を聞かせていただきたいということで期間が短いこともあったんですけど、百反対と言えないと名前を入れられないんですよ。そこがこのことが進まない原因だと思いました。

参加者Oさん 不規則発言・聴取不能

参加者Nさん すみません

司会 あまり他人にすみませんと言わせることは良くないですよ。

大野さん いろいろだと思うのですよ。私たちも市民懇談会というのを1年間やってきました。基地跡地の利用法という100人の委員が出ましたけど、思いはそれぞれです。いろいろな利用計画を出したい。プレーパークをほしいとか、いろいろな人がいます。私たちはとりあえずそれをいろいろな形でみんなの形を整備委員会に入れて、ほんとうに市民の願いをどのようなものなのか反映してください。市民懇談会でもこれだけ出たのだからゆっくりやってくださいよ、そういう署名の趣旨でスタートしてやっています。とりあえず、公園用地として取得しておいて、その中での使い方をこれから考えたらいいのではないかと思うのです。公園として国に利用計画を提出すればいいのです。カネ払ってコ

ンサルタントに作らせなくても済むんです。780万円も使わなくても済むんです。それでできるんです。後からゆっくり何をどう作るのか話し合ったらいいと思うのです。ですから国家公務員宿舎を入れたら後の計画は全部ダメになるから、それは入れないでくださいよ、という要求をしています。国家公務員宿舎が必要だというのは、市民にちゃんと説明して、朝霞市のあそこの場所を切らなくてもいろいろな候補地がありますよね、そこに作ってくれたらいいんじゃないですか。どうしても必要なら自衛隊の用地もあるし、そっちに持って行ってください、税金が必要ならそういうことも考えられたらどうですか、と私たちはそういう運動の基本方針でやっています。

参加者Oさん 不規則発言・聴取不能

参加者Aさん 意見が分かれることはいいことだと思うのですが、特定の方がしゃべってしまういろいろな人の意見が聞けないので、ちょっと抑えていただいて、そろそろ時間をなので、最後の話をしないと。

司会 微に入り細に入りという話をすると、これまた積算根拠が何も明確でないから、それで1つの市の方が財政だ、財政だ、と言う割には公園派の人たちに説明を果たしていないということが本質的に問題なわけです。その中で選挙が行われて、市長与党系の候補者たちは本来チェック機能を果たさなくてはならないのに、果たしていない。勝手にやられてしまっている。そういうことを怒らなくてはならないのにだんまり決め込んで、基地跡地利用市民連絡会が出したアンケートにもだんまりを決め込んでいる。回答しない。うちの出したアンケートも回答しない。公明党でさえも黙っているという状況です。そういう中でどういう風に考えていかなくてはならないかという話です。最後に1人ずつコメントいただいて、アンケート結果を公表し

て終了としたいと思います。

大野さん ということでは私たちの思いは多くの市民が基地跡地を百年の計としてどう使ったらよいかみんなと考えていきたい。一部の市長とかコンサルタントが使うんじゃないで、莫大な金額とか苦渋の選択とか言葉だけが先行していて、その裏付けとなる数字とか制度とか一切市民に説明できていないし、市議会にも説明できない。こういうかたちで計画が誰も責任を取らないかたちでどんどん進んでいく、そこに利権が群がりという政治はやめていただきたい。

参加者Oさん 不規則発言・聴取不能

大畑さん 本来朝霞第四小学校の問題は政治という問題から切り離してきました。または、PTAという組織を特定の政党等に組み込まれることをおそれたからです。そういう点ではお答えできることはありません。動いたことの中で、状況を1つ付け加えさせていただきたい。神谷さんが立ち、神谷父が県議に立つときに、自民党の市議たちは応援しました。が息子が市議に立たせることでみんな怒って造反していて、朝霞地区の自民党は機能がマヒしています。そういう点で自民党系の議員の公約は果たして自民党系の議員団として代表しうるのかね、と僕らは思っています。あと、民主系、共産系、効銘溪それぞれお考えだと思います。

司会 ありがとうございます。第三部はこれで終了します。

議員のアンケート、字だらけの資料でもうしわけありません。ご報告させていただきたいと思います。本当にゆゆしき問題だと思っているのが、議員アンケートに対する回答も、私が過去関わったありとあらゆる選挙では、どんな団体にでもすぐ返せと選挙の技術指導を受けた先輩たちから教わってきました。で私が代理で書

いたこともあります。団体が共産党系であろうが何だろうが質問には書いて出してきました。

ところが朝霞市はそういう風習がないみたいで、私たちの団体が得体が知れないから出さないのかと思ったら、どうも基地跡地利用連絡会やその他にも出さないということで、結局、革新系とちょっと出所のわからない人1人、7人だけが答えを返してきたというところ。全然偏ったアンケート結果になっています。うちのまちの政治家たちは説明しようという意欲がない。自分を知って貰おうという意欲がないということです。ここにパンフレットを置いて参加者に紹介しますよ、と言ったのにもってきたのは、1人、船本さんだけ。見ず知らずの一般市民に知って貰おうという意欲がないんですね。これ、今小選挙区制になった衆議院議員選挙は、衆議院議員候補者たちは必死にアピールしていますよね。しかし市議候補たちは駅で立つのも公示日の3日ぐらい前からだけ、それからちらちらも配らない、アンケートも答えない、新聞には情報が載らない、それで私たちは一体どうしろというのか、というのが今回の3つのテーマのもとになっていることです。それを見事にうちの街の市議会議員候補者のみなさんは、体現してくれたということになります。答えてくれなかったということをして市の中に大々的に配って、有権者に政策を訴えて、約束を市民にし、契約としての選挙にしてもらいたい、ということこれから取り組んで、一週間の間取り組んでいきたいと思います。

中身については回答者にいわゆるかつてなら革新系と分類される候補者が多いので、情報公開は前向きにやろうと、議会のあり方は開かれたものにしよう、福祉政策は共産党とそうでない人と別れるけど、いろいろある。基地跡地問題も市役所の進め方が乱暴だということですね。面白いところはベッドタウン朝霞のまちづくりという質問項目で、これはかなり個性が出てきているので、興味本位で見ていただいて、自分の感性に合う人をさがされたらいいのかと思っ

ています。とりあえずこのようなかたちで進めました。

それとこのようなことをやると言ったら、「さんかく会」の方が、「議員通信簿」というのを送ってくださって、表現がどぎつuitところがあるのですが、これも議会の今までの質問なのか、統計的に取って評価はあります。好き嫌いがあるのではないかと思う部分もありますが、資料として参考になります。

それから私の会の資料として用意したのは、質問回数とか、議案の賛否も資料に入れました。議案の賛否について、それぞれの議案の価値やどういう論点があるのかというのを付けないとわからないのですが、参考にしていただいて、現職議員に投票を検討する際には本当はこれを参考に評価しなければならないと思うのです。なかなかそういう情報がないものです。提供者の方がそのまま作っていただいたものを垂れ流して印刷しました。

では、今日はこれで終わりにして、一週間情報収集していただいて考えて、必ず選挙に行ってくださいのための投票先について、この先じっくり考えていただきたいと思います。

時間が延びてしまったことをお詫びしながら、本日はご参加、ご協力ありがとうございました。